



日向市長・教育長を 表敬訪問

平成28年4月20日(水)3年間のキャリア教育支援センターの取り組み状況を説明する。また、支援センターの今後の3年間の継続を要望し、推進についてのご理解とご協力、ご支援をお願いしました。(訪問者:水永センター長、富山コーディネーター、寺町事務局)



十屋市長と面談



北村教育長と面談

平成28年度 キャリア教育支援センターの目標

- ①「よのなか先生」登録300人構想
諸団体、機関、組織へ登録協力をお願いを展開中
- ②「よのなか教室」普及・定着
学校(先生方)との連携と支援(「キャリア教育の進め方」手引書の作成、研修)
- ③保護者への啓発活動
「家庭教育学級」や参観日での保護者向け「よのなか教室」の実施
- ④「ひむかジュニア運動」の展開
日向市区長公民館長連合会と連携して実施
等など「日向の子供たちの未来づくり」は続きます。

キャリア教育で子どもの成長を。

日向市立大王谷学園 校長 橋本 慎朗

本校では、キャリア教育を、「子どもを一人前の社会人・職業人、一人前の地域人、一人前の家庭人に育てる教育である」と定義付けしています。

昨年度から各学年ごとにテーマを設け、小中一貫校の利点を生かした系統性・継続性・一貫性のある9カ年を通したキャリア教育に取り組んでいます。多くの外部指導者等に協力をいただくことにより、児童生徒が自己を見つめ、生き方や進路を主体的に考えることができるようになってきました。また、日常生活の重点事項として、「あいさつ・返事・後始末・お手伝い」と「立腰」にも、家庭と連携しながら取り組んでいます。

豊かな出会いのある授業と、自らを律する日常の取組が児童生徒の成長にじわじわ効いてきているところです。



当たり前のことが当たり前できるように

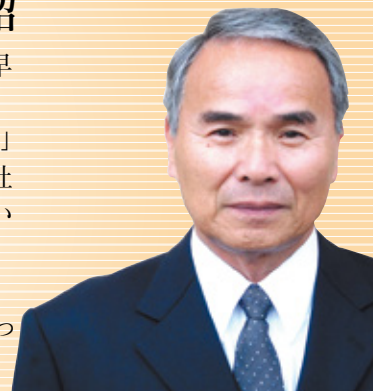
日向市立財光寺南小学校 校長 後藤 久昭

年度初めの始業式で、「当たり前のことが当たり前に来れるようになろうと、「早寝」「早起」「朝ごはん」「あいさつ」「返事」「靴そろえ」という6つのことを話しました。

キャリア教育で育てたい「基礎的・汎用的能力」の1つに「人間関係形成・社会形成能力」がありますが、「あいさつ」が日頃からしっかりできていないと、とても「人間関係形成」や「社会形成」などできません。これは、学習中よりもむしろ日常生活の中で身に付けておきたいことです。そのため、本校では、「す・げ・え」あいさつに取り組んでいます。

「す」…進んで 「げ」…元気に 「え」…笑顔で

こんな子どもたちがたくさん増えて、すてきな笑顔のあいさつが広がる学校にしたいと思っています。



子供たちの未来づくり

日向商工会議所 主任主事 黒木 和憲

現在、日向市キャリア教育支援センターによる「よのなか教室」が市民に浸透しつつあります。「よのなか教室」とは、日向の大人たちが子供たちに自分自身の体験等を本気で語りかける活動です。座学だけでなく、日向市の課題等について議論してもらうこともあります。このような教育を受けることのできる子ども達の環境は素晴らしいものがあります。

私が小・中学生の頃は覚えることに重きを置いた授業が主流であり、社会を見つめた授業はあまりなかったように思います。このような教育を粘り強く続けていけば、将来の日向市を大きく変えることができるものと信じています。子供たちの未来のために、現場の先生方、保護者の皆様方の「よのなか教室」へのより一層のご支援とご協力をよろしく願います。





高校「よのなか教室」

3月17日(木)美々津中2年生24人

美々津中学校2年生(24人)で、3月17日、初めての取組として高校進路を考えるための企画「高校よのなか教室」が行われた。

日向高校、日向工業高校、富島高校、門川高校の先生方による高校での模擬授業を体験したあと、美々津中出身の高校生たちが後輩の中学生にエールを送った。

もうすぐ3年生になる生徒たちにとって、「高校」の具体的なイメージを描く、貴重な機会となった。



3月18日(金)富島中2年生159人

終業式も間近に控えた、3月18日、昨年に引き続き高校への進路を考える企画として「高校よのなか教室」が行われた。

日向高校、日向工業高校、富島高校、門川高校の先生方が「模擬授業」を行い、富島中出身の高校生たちが高校生活の様子や中学生へのメッセージを語った。159名の生徒たちは、自分の希望する学科を3つ選んで、それぞれの模擬授業を受講し、先輩の話を聞いた。



グローバル「よのなか教室」

日向高校フロンティア科1、2年生

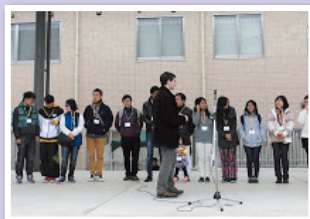
3月24日、日向高校フロンティア科1、2年生(80人)を対象に、元商船三井のアメリカ現地法人社長ほかを務められた貞松秀幸さんを迎えて「海外生活で学んだもの」というテーマでの講演会が開催された。貞松さんには、通算して23年の海外駐在経験を踏まえて、英語力の大事さと限界、海外でのビジネスの心構え、日向高校生に望むこと・・・などを具体的な事例や経験を紹介しながら語っていただいた。



グローバル「よのなか先生」

宮崎大学、宮崎総合学院の留学生・研究生

宮崎大学、宮崎総合学院の留学生・研究生30人を見かね、駅前交流広場でイースター祭が開催され、富島高校ボランティア57人、富高小ひよっこクラブが参加。日向の子供たちはたくさんの交流イベントを通じて英会話を楽しんだ。また、子供たちがひよっこ踊りを披露し、一緒に躍った。楽しい文化交流と活きた英会話の時間はあっという間に流れた。幼少期に異なった国、多様な文化や習慣を持つ人々と英語で交流することの価値は大きい。



留学生の自己紹介



「英語が上手だね!」



踊りと英語の歌を披露



留学生ひよっこ踊りを楽しむ